

平成27年3月 23 日

熊本市長

大西 一史 様

住所 熊本市中央区
団体名 NPO法人日本防災士会・熊本県支部
代表者 職名 支部長 氏名 宮下 正一

熊本市市民公益活動支援助成金実績報告書

平成 26 年 4 月 1 日付け指令(市協)第1-11号により、H26年度熊本市市民公益活動支援助成金の交付を受けました事業の実績について、下記のとおり報告します。

記

1 助成事業名

地域市民とNPOとのコラボDE安全安心なまちづくりの巡回出前講座

2 助成事業の実施期間

平成 2 5 年 4 月 1 日 ~ 平成 2 6 年 3 月 20 日

3 助成事業の内容

災害図上訓練(DIG)及び避難所運営ゲーム(HUG)を計画的に市内の大学や小・中学校、自治会から訓練の依頼がありまして、地域の防災力を高める事業。

4 事業の成果

今年は国際交流会館の職員の方々に避難所運営ゲーム(HUG)を体験して頂き、又、白山小学校4年生を対象に災害図上訓練(DIG)を実施致しまして、年齢・職業に関係なく、災害はいつ、どこで発生するか解らない日常生活で災害等に対する、心構えの一つの貴重な体験ができたと思います。

5 助成事業の実施状況

- (1)事業収支決算書(様式第16号)
- (2)事業の経過又成果を証する書類等
- (3)その他参考となる資料

事業報告書

平成26年度	
事業名	地域市民とNPOとのコラボDE安全安心なまちづくりの巡回出前講座
目的	安全安心の架け橋へ 自分の命を守る、大切な人を守る、安全なまちをつくる。 日本防災士会・熊本県支部は防災士の有志で構成するネットワークあり、地域市民に密着した”自助”共助”公助”を活動指針にて、市民生活を幅広い防災啓発活動を通じて、地域の安全安心の実現に努め団体、自治体や自主防災クラブ又町内会と密に連携して、地域防災力の向上を図り、各種災害時には、いち早く現地に赴き被災者支援・被害地支援及び復興支援活動を行うことを役目としています。
具体的な事業内容	①スキルアップ研修会 平成26年5月17日(土)くまもと森都心プラザ会議室において、「身近な防災対策・地震は同じところで繰り返し起きる等」の研修会を講師が指導し、防災士50名及び一般市民16名が参加して「士気の高揚に努める」を再確認のため実施した。 ②平成26年6月9日(月)熊本市国際交流会館において、巡回出前講座(避難所運営ゲームHUG)を職員25名に対して、講師と防災士4名参加して実施したところとても感謝されまして、今後は「留学生等」に対して計画したいと聞きましたので、その時には協力したいと思います。 ③平成26年7月12日(土)熊本大学工学部百周年記念会館において、熊本市災害ボランティアセンター設置訓練を熊大生200名が参加致しまして、講師や防災士10名が「災害水防工法」を、大学生に土嚢袋の作成や積立方法について指導した。 ④平成26年10月12日(日)熊本市立白山小学校体育館において、白山校区青少年健全育成協議会の依頼によりまして、小学4年生に、(災害図上ゲームDIG)を教職員9名・生徒63名に対しまして、講師や防災士8名参加し、前日には市危機管理防災総室職員2名も参加されて「街あるき」を一緒に行い、渡漣堰(一ノ井手)や熊本市菅原町水防倉庫等を回り、「防災について学ぼう」の体験を実施した。 ⑤平成26年11月23日(日)帯山校区防災訓練を市立帯山小学校体育館において、全校区1町内～7町内合同(参加者300名)の防災避難訓練及び(避難所運営ゲームHUG)を講師や防災士8名が参加して実施した。 尚、訓練開催に伴う事前打ち合わせ会を帯山コミセンにて、帯山校区役員10名・防災士5名が参加して3回に分けて詳細について申し合わせを実施した。 ⑥平成26年12月13日(土)武蔵ヶ丘コミセンにおいて、(災害図上訓練DIG)を、町内会の30名の皆さんに、防災士5名が参加して実施して、「初めての体験であり災害に対する認識が出来た」と意見が出ていた。

具 体 的 な 事 業 内 容	⑦平成27年2月21日(土)公立大学法人熊本県立大学において、社会福祉法人熊本市社会福祉協議会・ボランティアセンター・NPO法人日本防災士会・熊本県支部との協力で、テーマ「地域住民による互助活動で防災力・減災力を高めよう」を行い、学生200名参加し、若葉校区・健軍校区・秋津校区泉ヶ丘校区・詫麻南校区から50名が参加致しまして、(災害図上訓練DIG)を講師と防災士5名が協力して実施しました。
活 動 場 所	市 内 の 公 共 施 設 等
期 待 さ れ る 効 果	防災士会・熊本県支部は、市内各地区に出張致しましてDIGやHUGを巡回出前講座を国際交流会館や大学、小学校、自治会で開催しましたが災害は年齢や職業に関係ないと思います。市民の災害に対する興味や関心度は高く、熊本市は内陸部の位置にあり、津波の被害は限りなく少ないと推測されますが、地下鉄等は新設で出来ないように、地下の軟弱地盤により、大地震が発生した場合には、甚大な被害が発生すると予想されますので、定期的に「もしもの出来事を想定して」熊本市民一人一人が不測の事態に備えて、災害全般に亘り予備知識を認識して置く事はとても大事であり、各種災害により被災者及び被災地支援活動を積極的に実施し、「熊本市に住んで良かった」と感心される支援活動を全力で行います。

- ※具体的な事業についての、活動写真を別紙により添付致します。

事業収支決算書

項 目			金 額(円)	内 訳
収 入	自己資金		130,000	会費 65名×2,000
			7,066	事業収益
	市民活動助成金		220,000	その他 前年度事業繰越金
	その他の補助金・助成金			当該事業助成金交付決定額
	寄付金・協賛金			
	その他			
計		357,066		
支 出	助 成 対 象 経 費	報償費	84,000	講師謝礼金7,000×2H×6回
		使用料 賃借料		
		消耗品費	237,000	用紙・印刷費(白黒)10×10枚 ×59人×6回=35,400円 用紙・印刷費(カラー)30円×56 枚×20人×6回=201,600円
		備品購入費	10,114	事務用品費(マーカー、ボールペン、 マジック)
		その他		
		小計	331,114	
	助 成 対 象 外 経 費	飲食費	25,952	アドバイザー及び スタッフお茶代
		小計	25,952	
	計		357,066	